かに綠色を帶べる黑色にして側緣は金色を帶べる銅色，他は一樣に黑色なり。頭部は長く延長し，小皺のある點刻を有し，且つ長き大腮を有し，胸部よりはるかに長し。胸部は比較的廣く，後緣は狹まれる基部を除き圓味を帶ぶ。中央線は明瞭にして，基部は幾分，穿たる。密に小皺多く彫刻さる。翅鞘は長楕圓形，最も廣き部分は中央より稍々後方なり。前方へは幾分狹まり後方小さき尖端へは更に狹まる。凸出す。强く瘤狀突起を有す。而して間隙には四列の小瘤狀突起を有し，他の表面は密に，そして非常に强く粒狀をなす。周緣部は粗に厚く横斷せる小皺を有す。肢は堅牢にして跗節は長く細し。

完模式標本採集地：—北臺灣なる南湖大山（12531呎）。只一頭，K. Kodaira 氏により，1928　11月約10000呎の箇所にて獲られたり。"

IV. 附　　記

筆者所藏の個體は體長 43 mm.，體幅 13.5 mm. を記錄し，平山氏の個體は體長は筆者のものと同じく 43 mm. を算へてゐるが體幅は示されて居らない。尙平山氏所有のものは左後肢が畸形を呈してゐる。

山梨縣北巨摩郡產膜翅類目錄

山梨縣　船　窪　久

A list of Hymenoptera from Kitakomagun, Yamanashi Prefecture

By **H. Funakubo**

緒　　言

筆者は過去四年間膜翅類の採集を試み其の蒐集された標本も多數に上つたので今之を整理して本目錄を作製した。

本郡の昆蟲に關する記錄としては松村博士の八ケ岳山麓の採集品に關するもの位のもので未だ纒つたものあるを聞かない。かく本郡は豐富なる昆蟲に惠まれながら其の昆蟲相は明かにされてゐない。

本郡は山梨縣の北西部を占め海拔二三千米に達する茅，八，駒等の高山地帶及其の山麓地方と鹽川，釜無川二川の沿岸地方とより成り複雜なる地形を形成し多數の植物繁茂しこの間に豐富なる昆蟲棲息して生を樂しんでゐる。

この廣大な地域にあつて筆者の調査した範圍は上手村を中心とした地方と之より若神子村，日野春村を經て駒城村に到る郡中央部の平坦地及山麓地方の一部に過ぎない。殊に筆者の採集は膜翅類だけに止り且つ未だ種名の判明せぬものも多數ある。昆蟲は個々に其の生活に必要な環境條件は同一でない故其の棲息する場所は局部的に限られてゐる。されば本郡だけでも到る處に同一の昆蟲が棲息してゐるといふ譯に行かない。從つて筆者の狹い採集範圍を以て本郡全體を推定する事は困難であるが全く暗黑界にある本郡昆蟲相に極めて微かな光でも投じ得れば滿足である。今後高山地帶其の他の方面をも精査して本目錄を完成したい念願である。

本郡產膜翅類の分布系統は多數の日本獨特の固有種を產すると同時に舊北區系のものと少數の東洋區系の昆蟲等が交錯した非常に複雜な昆蟲相を呈してゐる。今土蜂に付て見るに本郡產土蜂は *Campsomeris* 屬三種と *Scolia* 屬四種計七種を產するがこの四種の *Scolia* 屬アカスヂツチバチ，キスヂツチバチ，オホモンツチバチ，コモンツチバチは舊北區系中の滿洲亞區特產の種類であつて三種の *Campsomeris* 屬オホハラナガツチバチ，ヒメハラナガツチバチ，キスヂハラナガツチバチは東洋系統のものが北上し來つたものと考へられてゐる。[1]

(1) 內田博士日本動物分類土蜂科　p. 9.

本郡附近の膜翅類調査の狀況は次の如くである。

武藏野	29科	182種	武藏野昆蟲誌
上伊那郡	16科	75種	上伊那昆蟲調査書

富士山	8科	27種	富士の動物
八ケ岳	5科	20種	Ins. Mats. Vol. 9. no. 1. 2.

本目錄を作製するにあたり加藤先生には多大なる御指導と多數の標本の同定を御願ひいたしました。厚く御禮申上げます。

Suborder **APOCRITA 細腰亞目**

Family Apidae みつばち科

1. *Apis indica japonica* Radoszkowski ミツバチ

餘り多からず。蜂蜜採取の爲飼養する地方もある。極めて多種類の花に働くが柿栗の様な小い密集した花を喜ぶ。

附記 *Apis mellifica* Linnaeus 洋種蜜蜂は採蜜の爲郡下各地に於て飼育されてゐる。

Family Bombidae まるはなばち科

2. *Bombus diversus* Smith トラマルハナバチ

極めて普通種で多くの種類の花を訪れる。

3. *Bombus ignitus* Smith クロマルハナバチ

普通種であるが前種より少い。

4. *Bombus yoshidae* Matsumura ヨシダマルハナバチ

少い。八月大藪鑛泉で一頭得たのみである。

5. *Bombus speciosus* Smith マルハナバチ

少い。九月茅岳山麓で一頭採集。

Family Anthophoridae あをすぢはなばち科

6. *Tetralonia mitsukurii* Cockerell ヒメヒゲナガバチ

八月末大藪鑛泉にて萩の花に多數採集。

7. *Tetralonia* sp.

シロスヂヒゲナガバチに酷似す。腹部の白色條斑稍黄褐色を帶び前翅の肘室は三。

8. *Eucera difficilis* Pérez シロスヂヒゲナガバチ

早春レンゲサウ等に集る普通種。

9. *Anthophora florea* Smith シロスヂハナバチ

極めて普通種。多種類の花に働くが殊に唇形花を好む。花に入る時暫く花の前に靜止の姿勢をとる特性がある。體色黑く腹部白色線斑の鮮に白きものと腹部白色線斑の薄く頭部胸部の著しく黃褐色なるものとあり。

Faimly Nomadidae きまだらはなばち科

10. *Crocisa japonica* Friese ルリモンハナバチ

青い美しい蜂であるが少い。夏アキノタムラサウ，ゴマ，オミナヘシ等に來る。

11. *Nomada japonica* Smith キマダラハナバチ

早春菜の花に集る普通種。

Family Xylocopidae くまばち科

12. *Xylocopa appendiculata* Smith クマバチ

極めて普通種。多くの花に働くが花瓣の横から口吻を挿し入れて蜜を吸ふ。

Family Megachilidae はきりばち科

13. *Megachile sculpturalis* Smith オホハキリバチ

極めて普通種。八九月頃花及屋内に飛來する。

14. *Megachile nipponica* Cockerell バラハキリバチ

普通種。

15. *Megachile japonica* Alfken ヤマトハキリバチ

普通種。

16. *megachile sasakiella* Cockerell ヒメハキリバチ

普通種。夏コマツナギの樣な小い花に集る。

17. *Anthidium japonicum* Smith トモンハナバチ

少い。九月頃花上又は軒先に飛來する。

Family Stelididae とがりはなばち科

18. *Coelioxys fenestratus* Smith トガリハナバチ

少い。八月花に來る。

19. *Coelioxys yanonis* Matsumura ヤノトガリハナバチ

少い。花に來り地上を飛翔す。大藪鑛泉附近にて採集得たのみである。

20. *Coelioxys* sp.

前種より更に小く體長 11 mm 腹部第二第三節の中央に凹帶ありて其の前部には小點刻密布す。顏面に黃褐色短毛を密生せず。各所に普通なり。

21. *Euaspis basalis* Ritsema ハラアカハナバチ

赤い美しい蜂でゴマの花などに集り屋内にも飛來する普通種。

Family Andrenidae ひめはなばち科

22. *Nomia punctulata* Dalla Torre アヲスヂヒメハナバチ

少い。九月初朝神村にて二頭採集。

23. *Sphecodes simillimus* Smith アカヒメハナバチ

春夏花に集る普通種。

Family Crabronidae ぎんぐちばち科

24. *Crabro jozankeanus* Matsumura ジヤウザンギングチバチ

少い。八九月頃花に來る。本州未記錄であるが當地にも多少發見される。[2]

[2] 武藏野昆蟲誌 p. 152.

25. *Crabro vagus* Linnaeus ギングチバチ

九十月頃ウドの花などに集る普通種。

Family Bembicidae はなだかばち科

26. *Bembix niponica* Smith ハナダカバチ

少い。八月頃花に來る。

Family Larridae とがりあなばち科

27. *Tachytes saundersi* Smith トガリアナバチ

駒城村にて八月オトコヘシ等にて採集。

Family Philanthidae つちすがり科

28. *Cerceris quinquecincta* Ashmead キスヂツチスガリ
八九月頃採集。少い。

29. *Cerceris harmandi* Pérez ツチスガリ
七八月採集。少い。

30. *Cerceris japonica* Ashmead マルモンツチスガリ
八月末採集。前二種より多い。

Family Trypoxylonidae じがばちもどき科

31. *Trypoxylon obsonator* Smith ジガバチモドキ
花上地上及室内に來る普通種。

Family Sphecidae じがばち科

32. *Sphex umbrosus* Christ クロアナバチ
極めて少い。八月駒城村にて一頭採集。

33. *Sphex muticus* Kohl コクロアナバチ
七八月頃花に集る普通種。

34. *Sphex* sp. モモアカアナバチ
八月花に來る。

35. *Ammophila japonica* Kohl フジジガバチ
少い。八月地上にて採集。

36. *Ammophila infesta* Smith ジガバチ
極めて普通。地上又花に來る。

37. *Sceliphron inflexum* Sickmann ルリジガバチ
極めて普通種。花に集る。

Family Psammocharidae べつかふばち科

38. *Cyphononyx fulvognathus* Rohwer ベツカフバチ
少い。九月ウドにて採集。

39. *Psammochares hakodadi* Dalla Torre フタモンベツカフ

極めて少い。自宅庭の樹上にて採集。

40. *Psammochares atrocissimus* Dalla Torre オホモンクロベツカフ

花上草間に得らるゝ極めて普通種。

41. *Psammochares arrogas* Smith オホシロフベツカフ

普通。七月より十月頃まで採集出來る。

42. *Psammochares propinquus* Smith ムツボシベツカフ

地面にゐる普通種。

Family Vespidae すずめばち科

43. *Parapolybia orientalis* Saussure ホソアシナガバチ

少い。

44. *Polistes hebraeus* Fabricius アシナガバチ

極めて普通種。屋外育の蠶を襲ふ事あり。

45. *Polistes snelleni* Saussure コアシナガバチ

普通種。花に來る。

46. *Polistes antennalis* Pérez フタモンアシナガバチ

普通種。花に來る。

47. *Vespa crabroniformis* Smith モンスズメバチ

普通種。櫟の樹液に集る。

48. *Vespa ducalis* Smith ヒメスズメバチ

大形の蜂で櫟の樹液，熟柿等に集る普通種。

49. *Vespa mandarinia* Smith スズメバチ

大形の蜂。樹液熟柿等に集る普通種。

50. *Vespa dybowskii* André チヤイロスズメバチ

少い。樹液に集る。

51. *Vespa auraria* Smith キイロスズメバチ

極めて普通種。樹液又は花に來る。

52. *Vespa japonica* Saussure　クロスズメバチ

極めて普通種。方言へボといふ九月頃幼蟲の多い時に採つて食用とす。

Family　Eumenidae　とつくりばち科

53. *Rhynchium japonicum* Dalla Torre　オホフタオビドロバチ

最も普通種。ウドの花などに來る。

54. *Rhynchium brunneum* Fabricius　シリアカドロバチ

軒先に飛翔し又ヘクソカツラの花に來る，本州未記錄となつてゐるが餘り少くはない。(3)

(3) 武藏野昆蟲誌　p. 171.

55. *Rhynchium ornatum* Smith　カバフドロバチ

極めて普通種。竹の孔を利用し土製球形の巢を造る。4 cm 位の細き管狀の入口を附す。

56. *Odynerus mikado* Kirsh　ミカドドロバチ

普通種。花に集る。

57. *Odynerus apiciornatus* Cameron　ヒメフタオビドロバチ

普通種。花に集る。

58. *Eumenes japonica* Saussure　スズバチ

普通種。本科中一番大形。

德利形の巢は半日位で完成し二三日かゝつて青蟲類を運び入れ産卵して蓋をする。この巢が二三集つて全體を何度も泥をぬりつけて楕圓がかつた球形に仕上げる。

59. *Eumenes mikado* Cameron　トツクリバチ

極めて普通種で八九月花に集る。

60. *Eumenes fratercula* Dalla Torre　キボシトツクリバチ

普通種で春夏の候花に集る。

61. *Discoelius japonicus* Pérez　フタスヂスズバチ

餘り多からず。シソの花などに集る。古い柱の地上1m位の處に孔を穿ち一餌を運び產卵したものならん一葉切蜂の如く月形に切り採つた葉片を何回も運び來り，つめこんで蓋をしてゐた。(昭和13. 9. 12)

Family　Chrysididae　せいぼう科

62. *Stilbum cyanurum amethystinum* Fabricius　セイボウ

極めて美しい種類であるが少い。オミナヘシ，オトコヘシの花に集る。

63. *Chrysis daphne* Smith　ホソヨツバセイボウ

極めて少い。

64. *Chrysis ignita* Linnaeus　ヨツバコセイボウ

小い美しい蜂で植木石垣等に來る普通種。

65. *Chrysis zetterstedti* Dahlboma　ミスヂムツバセイボウ

極めて少い。

Family　Scoliidae　つちばち科

66. *Campsomeris annulata* Fabricius　ヒメハラナガツチバチ

最も普通種で八九月頃花に來り地上に飛ぶ。

67. *Campsomeris prismatica* Smith　キスヂハラナガツチバチ

前種と共に最も普通。九月頃花に來り又地上を飛翔す。

68. *Campsomeris grossa* Fabricius　オホハラナガツチバチ

大形の蜂で少い。八月頃花に來る。

69. *Scolia vittifrons* Saussure　アカスヂツチバチ

極めて普通。

70. *Scolia oculata* Matsumura　キオビツチバチ

普通種。七八月頃花に集る。

71. *Scolia ventralis* Smith　コモンツチバチ

極めて普通。七八月頃花に集る。

72. *Scolia japonica* Smith　オホモンツチバチ

少い。八月頃花に集る。

Family　Formicidae　あ　り　科

73. *Camponotus japonicus* Mayr　クロオホアリ

普通種。

74. *Camponotus herculeanus obscuripes* Mayr　ムネアカオホアリ

普通種。

75. *Polyrhachis lamellidens* Smith　トゲアリ

普通種。

Family　Cynipidae　たまばち科

75. *Dryophanta mukogawae* Matsumura　ナライガワシバチ

普通種。

Family　Leucospidae　しりあげこばち科

77. *Leucospis japonica* Walker　シリアゲコバチ

七八月頃花に集る普通種。

Family　Chalcididae　あしぶとこばち科

78. *Brachymeria obscurata* Walker　キアシブトコバチ

少い。十月ウドの花にて採集。

附記　*Aphnalis moli* Haldeman リンゴワタムシヤドリコバチは，林檎綿蟲驅除の目的を以て最近輸入されたものであるが當地方にも盛んに繁殖してゐる。

Family　Braconidae　こまゆばち科

79. *Apanteles glomeratus* Linnaeus　アヲムシコマユバチ

普通種。

Family　Ichneumonidae　ひめばち科

80. *Proichneumon japonicus* Kriechbaumer　カハムラヒメバチ

普通種。九十月草間樹葉上に採集。

81. *Protichneumon cognatrius* Smith クロヒメバチ

少い方。八月草間にて採集。

82. *Trogus arrogans shirakii* Matsumura シラキヒメバチ

普通種。林中にて八月頃採集。

83. *Dinotomus maetator* Tosquinet アゲハヒメバチ

極めて少い。九月採集。

84 *Ichneumon generosus* Smith マダラヒメバチ

少い方。八九月頃採集。

85. *Ctenichneumon kawamurae* Uchicla カハムラサキブトヒバチ

極めて少い。

86. *Amblyteles niikunii* Matsumura ニイクニヒメバチ

少い。四月採集。

87. *Amblyteles cursorius* Smith ハラアカヒメバチ

少い。六月採集。

88. *Platylabus iwatensis* Uchida セアカヒメバチ

極めて少い。九月採集。

89. *Acroricus ambulator* Smith キアシヲナガヒメバチ

少い。五月及十月採集。

90. *Ephialtes manifestator* Linnaeus フシヲナガバチ

極めて少い。十月採集。

91. *Thyreodon purpurascens* Smith ムラサキウスヒメバチ

極めて少い。八月採集。

92. *Ophion pungans* Smith オホアメバチ

普通種。十月頃多し。

93. *Metopius rufus* Cameron キオビコシブトヒメバチ

少い。八九月頃採集。

94. *Exochilum circumflexum* Linnaeus マツケムシヤドリバチ
少い。

95. *Bassus lactatorius* Fabricius アカハラヒラタアブヤドリバチ
少い。六月採集。

96. *Hedylus basalis* Smith スヂハラボソヒメバチ
少い。十月大藪鑛泉にて採集。

Family Evaniidae やせばち科

97. *Evania appendigaster* Linnaeus マルガタヤセバチ
少いやうである。八月自宅裏の白壁に止つてゐるのを採集。

98. *Gasteruption japonicum* Cameron コンボウヤセバチ
普通種。六月より九月の頃ウドなどの花に來る。

Suborder **SYMPHYTA** **廣腰亞目**

Family Tenthredinidae はばち科

99. *Lagium platyceros* Marlatt ヒゲナガハバチ
少い。

100. *Athalia japonica* Klug ニホンカブラバチ
普通種。

101. *Athalia colibri japonensis* Rohwer カブラバチ
極めて普通種。

102. *Allantas fuscipennis* Smith ハグロハバチ
少い。

103. *Cimbex taukushi* Marlatt キイロアシブトハバチ
大きい葉蜂で極めて少い。八月小淵澤村にて一頭採集。

104. *Abia lewisii* Cameron アヲコンボウハバチ
極めて少い。四月上手村にて一頭採集。

105. *Arge moli* Matsumura リンゴハバチ

極めて少い。七月上手村にて採集。

備考　以上發現の時期，多少，働く花の種類等の記載　筆者四年間の採集又は觀察に基く記錄で一般的の意味のものではない。

黒部川流域産昆蟲目錄（2）

〔鞘　翅　目〕

田　中　忠　次

A List of insects from the Valley of the Kurobé (2)

〔COLEOPTERA〕

By **Chuji Tanaka**

前報告と同様 A（平地帶 a 沼澤地を含む）• B（山地帶）• C（峽谷地帶）• D（高地帶）の符號により本地方の分布を示す。記載はアルファベット順とす。

Anobiidae　しばんむし科

1. *Hicobium castaneum* Olivier var. *hirtum* Illiger　ケブカシバンムシ　A

Buprestidae　たまむし科

2. *Buprestis japanensis* Saunders　クロタマムシ　A
3. *Chalcophora japonica* Gory　ウバタマムシ　A
4. *Trachys subbicornis* Motschulsky　ナミガタチビタマムシ　B

Cantharidae　ほたる科

5. *Athemus suturellus* Motschulsky　ジヤウカイボン　A
6. *A. vitellinus* Kiesenwetter　セボシジヤウカイ　A